

認知症ケア支援VR



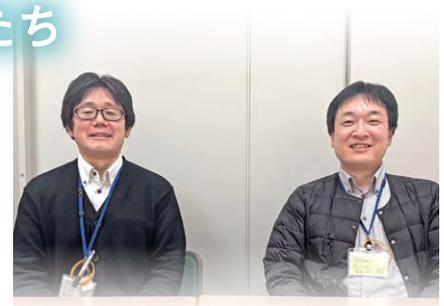
User's Voice
vol.23



FACE DUO

VRで「新しい認知症観」を体験 行政×病院 地域の新しいイベントのかたち

北海道千歳市



千歳病院
作田 直人 様

千歳市
富永 壮 様



千歳病院・千歳市のご担当者様の
インタビュー動画はこちらから

地域住民に伝える「新しい認知症観」——体験で伝える試み

認知症基本法の制定をきっかけに、地域の方々へ「新しい認知症観」をどう伝えるかを考えてきました。従来の啓発活動は映画や配布物が中心で、実際に体験できる機会はほとんどありません。しかし、言葉だけで説明するよりも、リアルに近い体験を通じて理解を深める方が効果的だと感じています。もちろん、当事者の声や気持ちは非常に重要です。しかし、それに加えて、家族の声など、さまざまな切り口で理解を促す工夫が必要です。

一般住民を対象とする場合、VRを活用することで疾患啓発のハードルを下げられるのではないかと考えました。ところが、希望に合うコンテンツが見つからず、予算面でも頓挫したことがありました。



FACE DUO 導入のきっかけ —— 手頃な価格のレンタルプラン



当初は科学技術大学と協力し、独自に映像を制作することも検討しました。しかし、信頼性やエビデンスの確保が課題でした。他社のVRも検討しましたが、予算の壁に阻まれました。そんな中、大塚製薬から1か月間自由に使えるVR3台分のレンタルプランの提案がありました。手軽に試せると感じ、「それならレンタル期間、使い倒してみよう」と決断し、FACE DUOの導入が実現しました。

短期利用プラン

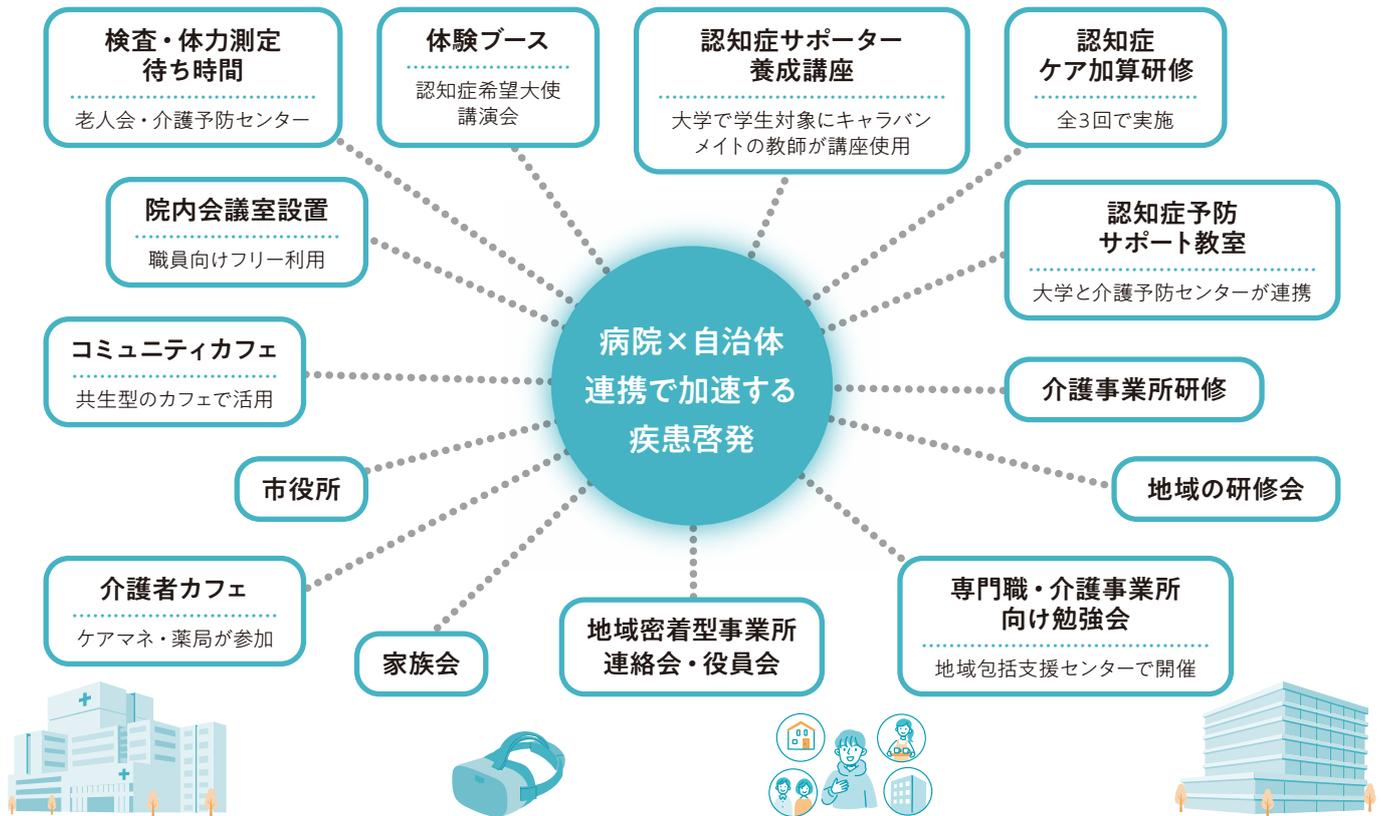
認知症・フレイル関連イベント・
導入に向けたトライアル等に活用

- FACEDUOの全てのコンテンツが1か月利用*できるプランです。
- 豊富なコンテンツを1か月間制限なしでご利用頂けます。

99,000円/月 (消費税込み、送料込み)

* 短期プランは連続2か月までご利用頂けます。

1か月間でフル活用——14ヶ所・16日間の実践



「自分ごと」だと思ってゴーグルを装着——没入感を活かす

FACEDUOは、認知症啓発の新しい可能性を示しました。VRならではの没入感を活かし、本人視点と家族視点を体験できることは、理解を深める大きな一歩です。今後は、疾患ごとの特徴再現やアクセシビリティ対応を進めることで、さらに効果的な啓発ツールになることを期待します。

<活用のポイント～没入感を活かすこと>

「VRをついたら、自分が話しかけられている立場だと思って見てください」

と一言添えるだけで、体験の意味が深まります。説明がないと、ただ動画を見るだけになりがちです。今後は、コンテンツ内に「本人や家族の立場で考えてみてください」というガイドがVRの中に入るとより効果的になると思います。

● 心理師の声

「応用行動分析学が取り入れられている点が良い」との声がありました。認知行動療法との関連性もあり、学術的な価値も高いと感じます。

● ベテラン介護職の声

「初心に立ち返るきっかけになる」との声がありました。多忙な業務の中でとても意味があることです。



詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!